

買う前にもう一度考えましょう。

買い物に出かけ、不要なもの、あるいは必要な量以上を買ってしまったことはありませんか。

本当に必要なものかどうか、
買う前にもう一度考えましょう。



ムダなものは買わない、もらわない。
衝動買いに注意。
家に使いかけのものはないか。
すぐに流行遅れとなったり飽きたりしないか。
他のもので代用できないか。

ワンポイント

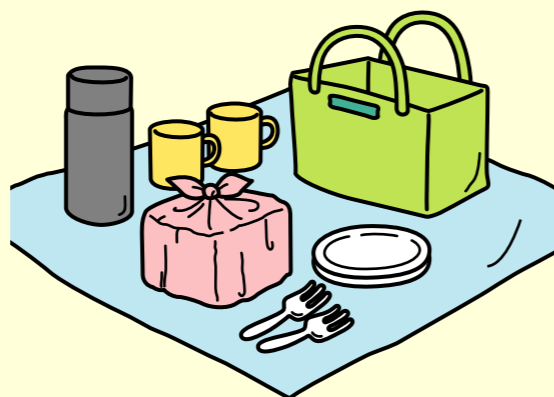
子どもの衣類、育児用品など使用期間が一時的なものは、友人・親類から譲ってもらえないか、他のもので間に合わせられないか、レンタルできないか、買う前に考えてみましょう。

3R実践の例

ハイキングやピクニックに出かけるとき、
欠かせないのがお弁当や飲み物。コンビニなどで購入すると空き箱や割りばし、
ペットボトルなどのごみが出ます。

そこで、ごみを最小限にするため、
自分用の箸や水筒などを持ち歩くことを
お勧めします。

ムダなものをももらわず、ごみを出さないようにしましょう。



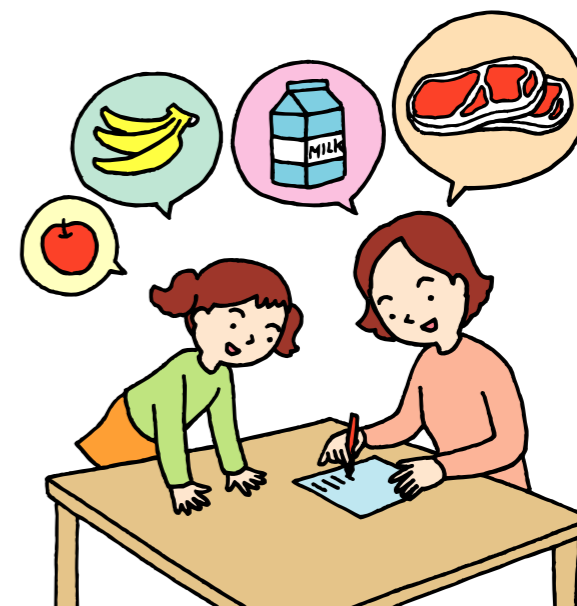
買い物は事前にメモするように心がけましょう。

あなたは、衝動買いをした経験はありませんか？

不要なものを購入することは、ごみが増える原因となるだけでなく、経済的にも
もったいないことです。

買いたいものは、あらかじめ、
メモするように心がけましょう。

本当に必要なものか、十分検討
してから購入すると効果的な買い
物ができます。



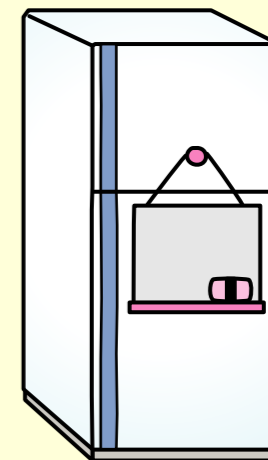
ワンポイント

メモ用紙は、不要となったカレンダーを切ってその裏側を使うなど、普段からリユースを心がけましょう。

3R実践の例

食料品については、冷蔵庫に長期間入れたままに
してしまいがちです。

このようなことを防ぐため、冷蔵庫の正面などに
ホワイトボードを吊り下げ、冷蔵庫に入っている商品
を書いておく「冷蔵庫の在庫メモ」を作っておきます。
そうすれば、不要な物まで買ってしまふことを
防ぐことができますし、賞味期限の管理にも役立ち
ます。



マイバッグを持参して、レジ袋を断りましょう。

買い物をしたとき、あなたはレジ袋をもらいますか？

ごみ減量のためにレジ袋を減らす運動が広がりつつあります。店によっては、レジ袋利用を辞退した場合に特典を設けているところもあります。



買い物に出かけるときは
マイバッグ

ごみを出さない努力をして、私たちが身近にできる“環境にやさしい買い物”をしましょう。

ワンポイント

レジ袋を断るための第一歩は、小さな袋を持参するよう心がけることです。小さな袋であればかさばることもなく、持ち運びも苦になりません。レジ袋1枚の積み重ねが、ごみ減量の大きな力となります。

3R実践の例

豊田市では、平成12年度から共通シール制度による買物袋持参運動を進めています。

レジ袋を断るなど環境にやさしい行動をとると、お店（加盟店）からシールが1枚もらえ、このシールを20枚集めると100円分の買い物券として加盟店全店で利用できるものです。

平成14年度に市内で削減されたレジ袋は年間約1,440万枚（123トン）で、市民一人あたり41枚のレジ袋が削減できました。



詰め替え商品を選びましょう。

たとえばポンプ式のシャンプーや洗剤。

まだ使える容器も、中身がなくなればごみになることが多く、捨てる時にかさばります。

詰め替え商品なら、容器ごみがその分少なくなります。

今では、洗濯用や台所用の洗剤、シャンプー・リンス、調味料など、容器とは別に中身だけパックされて売っているものも増えています。

いろいろな商品を試してみましょう。

繰り返し使える容器を使用した商品を購入する。
詰め替え可能な商品を購入する。
使い捨て商品はなるべく使用しない。



ワンポイント

容器付き商品と詰め替え商品の販売価格を比較すると、多くの場合、詰め替え商品の方が割安です。容器付き商品の方が安いものや、ほとんど変わらないものもありますが、ごみの減量化を考えて商品を選びましょう。

3R実践の例

詰め替え商品には、洗剤やシャンプー・リンスなどの他にもいろいろな商品があります。

食品関係では、香辛料（コショウ、七味など）をはじめ、インスタントコーヒー、サラダ油、酢、クリーミングパウダーなどが市販され、文具では、スティックのりや蛍光ペンなどにも詰め替え式が使われています。また、アトマイザー（香水詰め替え容器）には、スプレー式、ボトル式など色々な種類があります。



ばら売り・はかり売りで必要な量だけ買いましょう。

最近は、肉も魚も野菜も最初からパックされているものが増えてきています。そのため、必要な量以上を買ってしまったり、食品トレーやラップなど意識しないうちにごみを増やしています。

できるだけ、ばら売りやはかり売りを利用し、

**必要な分だけ買う
袋やケースをもらわない**

など、ごみを増やさない買い物を楽しみましょう。



ワンポイント

ペットボトル、カップめんの容器など、家庭から出るごみのうち、もっともかさばるのは紙やプラスチックなどの容器包装であり、家庭ごみ全体の6割を占めています。

「ごみとなる容器包装を、買い物の際にどこまで減らすことができるか。」これが家庭ごみ減量のポイントです。



3R実践の例

最近は、環境配慮への意識の高まりもあって、スーパーでもばら売りやはかり売りを導入する店が増えてきました。

また、八百屋や精肉店、魚屋などの小売店は、従来からはかり売りをしていくところが多くあります。皆さんの近所でも、ばら売りやはかり売りをしている店を見つけてはどうですか。

再生品を選びましょう。

あなたは、商品を選ぶときに何を基準にしていますか？
経済性を優先して安いものを選んだり、機能性やデザインなどで選ぶことも多いと思います。

環境にできるだけ負担をかけない暮らしをするため、商品を選ぶときは、再生資源から作られた商品を積極的に選びましょう。

それが、リサイクルの輪をつなげることとなります。



ワンポイント

環境に配慮された製品かどうか、それを知る手掛かりの一つに「環境ラベル」があります。環境にいいものを選ぶ判断材料として役立てましょう。



グリーン マーク



エコマーク



間伐材マーク

3R実践の例

ビールびんや牛乳びんのように、くり返し使うことのできるリターナブルびんを選びましょう。資源をごみにすることがなく、優れたごみ減量の方法です。